WAKU WAKU

研究だより

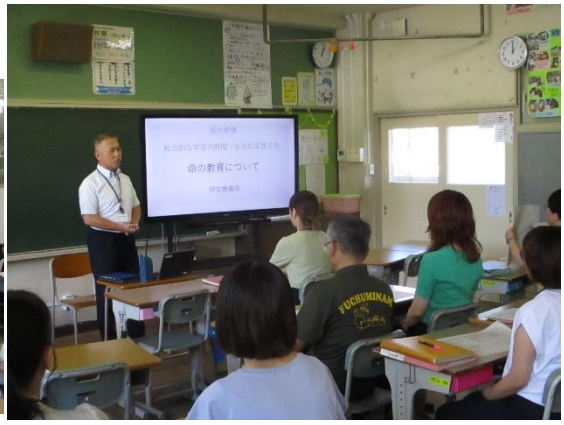
府中町立府中南小学校

No.10 令和7年7月24日

「ワクワク」な夏休みミニ研修 レポート2

府中南小学校にとって大切な「命の教育」

夏森先生から「命の教育」についての教えていただき、2学期以降の総合的な学習の時間や生活科などについての「作戦会議」。他の学年の取り組み計画を聴く中で、縦のつながりを意識できたり、より子どもたちが主体的に取り組む探究的な学びの進め方について考えを深めたりできました。



テーマ『教室の中の気になる子への対応』（宇土先生）

教師として大切な「子ども理解」。発達障害などについては、様々な理論や対応方法などが広がってきていますが、それ以外にも様々な背景を抱えた子たちがいます。今回は、5つについて具体的にお話を聴かせていただきました。①起立性調節障害②会食恐怖症③HSC（生まれつき人一倍敏感で繊細）④APD（音として聞こえるのに雑音として聞こえる）⑤LGBTQ+

教師の当たり前で子どもたちを理解しようとするのではなく、「違うのが当たり前」。そのためにも、様々な背景の子がいることを「知ろう」とすることの大切さを感じました。また、一人ずつが特別な「よさ」を持っている。その「よさ」が輝く関わり方をできるように、模索していきたいですね。

座談会 テーマ『子どもとの関わり方、声かけで意識していること』

一人ずつがやる気になる前向きな声掛けが大切だよね。

譲らないポイントがある一方で、やらないといけないことがある。そのバランスが難しいね。

子どもたちの行動には、何か理由があるんだよね。そこを分かろうとしたいね。

【教えて松谷先生!『子どもとの関わり方、声かけで意識していること』】

まずは、子どもの抱える SOS を見逃さないように、雰囲気や表情、様子などを感じ取ることを心がけています。そして、安心して話ができ、本音を引き出すことができるようにあたたかい雰囲気をつくるようにしています。時には一緒に泣いたり、笑ったり、喜んだりして、気持ちを共有して声をかけています。